

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり2.46人と、前週と比べてやや減少しました。

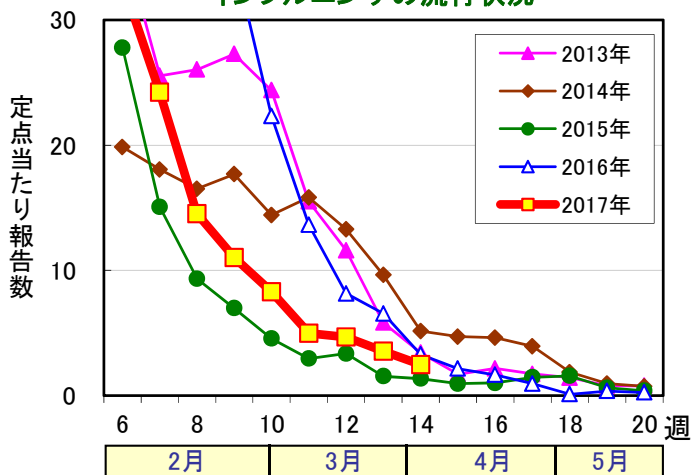
例年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月頃まで続く傾向がみられるため、引き続き、手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がける必要があります。

なお、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が22人、B型陽性が13人報告されています。(次頁参照)

2. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は12件となりました。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	91	2.46	2.97	◇	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.49	
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.18		眼科	RSウイルス感染症	5	0.21	0.07	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	1.92	1.59	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	102	4.25	7.84	⇒	眼科	流行性角結膜炎	9	1.13	0.60	
	水痘	5	0.21	1.01		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	手足口病	20	0.83	0.16	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.27			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	12	0.50	0.47			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29		
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.06							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ⇨ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇩ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	41	女性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・2人、女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
5	梅毒	1	12	男性(30歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウイ ルス)	感染性胃 腸炎
報告数	広島市	第10週	306	18	83	93	9	9	10	-	-	5	8	-	1	-	-	2	-	-	-
		第11週	184	14	57	101	8	7	8	1	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
		第12週	172	19	62	98	11	13	6	-	3	4	1	-	5	-	-	-	-	3	-
		第13週	127	7	51	101	8	13	4	-	-	2	6	-	4	-	-	1	-	-	-
		第14週	91	7	46	102	5	20	1	-	5	1	5	-	9	-	-	-	-	2	-
定点当 たり	広島市	第10週	8.27	0.75	3.46	3.88	0.38	0.38	0.29	0.42	-	0.21	0.33	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-
		第11週	4.97	0.58	2.38	4.21	0.33	0.29	0.13	0.33	0.04	0.04	0.04	-	0.25	-	-	-	-	-	-
		第12週	4.65	0.79	2.58	4.08	0.46	0.54	-	0.25	-	0.13	0.17	0.04	0.63	-	-	-	-	0.43	-
		第13週	3.53	0.30	2.22	4.39	0.35	0.57	0.04	0.17	-	0.09	0.26	-	0.50	-	-	0.14	-	-	-
		第14週	2.46	0.29	1.92	4.25	0.21	0.83	0.04	0.50	-	0.21	0.04	0.21	1.13	-	-	-	-	0.29	-
全国		第12週	7.71	0.33	2.08	5.01	0.36	0.11	0.06	0.37	-	0.02	0.57	0.18	0.01	0.45	0.03	0.03	0.24	-	0.59
		第13週	6.78	0.31	1.98	5.38	0.35	0.13	0.07	0.40	0.01	0.02	0.58	0.20	-	0.53	0.02	0.03	0.26	-	0.61

■ 新たに判明した病原体検出状況

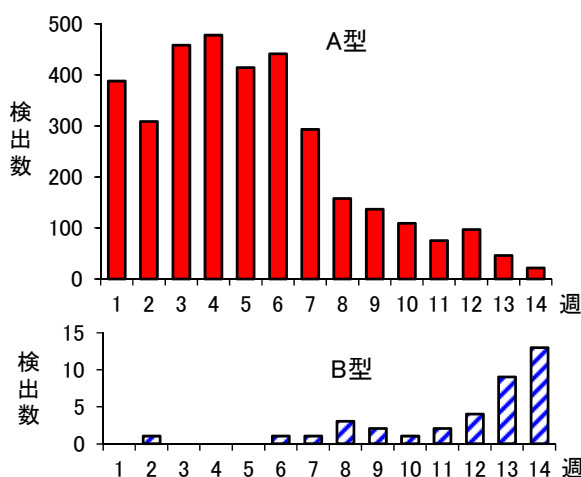
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(37.8) 扁桃炎	5	男	2017/03/01	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 上気道炎	0	男	2017/02/18	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	3	男	2017/02/19	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.8) 上気道炎	0	男	2017/02/28	咽頭拭い液	ヒメニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 咽頭炎	2	男	2017/03/01	咽頭拭い液	ライノウイルス 肺炎マイコプラズマ
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 気管支炎	0	女	2017/03/03	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 気管支炎	0	女	2017/03/04	咽頭拭い液 鼻汁	百日咳菌
その他の疾患	発熱 発疹 結膜炎	1	女	2017/02/24	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における今シーズン(注1)のインフルエンザウイルス検査状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果



基幹病院2か所における迅速診断キットのインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性が4,127人、B型陽性が54人と、A型が98.7%を占めています。A型は第4週をピークとして第7週以降は減少していますが、B型は第11週以降増加傾向がみられます。

なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注2)の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が1件、A(H3)型が28件、B型(ビクトリア系統)が2件、B型(山形系統)が1件検出されています(4月9日現在速報値)。

(注1) 期間は、2016年第36週～2017年第35週です。

(注2) 感染症発生動向調査における病原体定点等において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第14週(4月3日～4月9日)